

地域報告

放課後児童クラブ版コロナ陽性者発生時の緊急対応策

由布市挾間町くすのき放課後児童クラブ 園田暁子

1. 陽性者児童の保護者、ご家庭より連絡をもらう

クラブ利用者全員に、検査を受けた場合や、濃厚接触者の時、検査結果はクラブと学校に必ず連絡することを、事前に知らせておく

2. 各自治体の保健所に、陽性者本人とは別に、クラブから連絡をしていく (保健所の電話・ファクス番号を確認しておく)

*保健所や各機関は、「児童クラブとは？」の方もいるので、学校より密な環境、マスクをしない子、仕切りのないおやつを食べ方、特に他学年で過ごしている危険性などを、明確に伝える。これにより、検査対象枠が広がるため、早急な感染防止策になるかもしれない。

*支援者は、濃厚接触者の定義に触れない場合がある。「マスクを外していましたか？」と聞かれる。だが、子どもとの密着度が高いこと、子どもがマスクを外していることを伝え、早急に検査対象に組み込んでもらうのが望ましい。検査が遅れると、自身のご家族も、会社や学校に行けない場合がある。不明確なままだと、感染を広げてしまう恐れがある。

3. 子育て支援課担当へ連絡。今後の対応を話し合う

(勤務時間外も考えられるため、事前に担当者の携帯等を控えておく)

4. 検査対象者の名簿を準備する

*全員が検査対象の場合は、クラブ名簿を保健所と支援課へファックスで提出する。

*検査が混み合っている場合、緊急な児童と支援者の検査ならば、早急に対応可能なケース有り。その場合、検査対象者の氏名・年齢・性別を記入したものをファックスで提出。

緊急な児童をどうやって決めたのか？保護者の質問で、陽性者の特定をされない配慮が必要である。答え方として、「保健所との要項があります」が望ましいが、マスク未着用、おやつを食べ方、遊び方等、説明の仕方を考えておく。

